

かがやき

<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/>

病院広報誌

Vol.32

2018 春号



検査部

「採血室」移転しました

耳鼻咽喉科

「耳鼻咽喉科外来」拡張しました

腫瘍内科

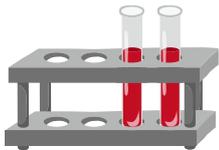
「外来化学療法室」移転しました

高次脳機能障害支援センターの取り組み

ご自由に
お持ちください
TAKE FREE

「採血室」移転しました

平成30(2018)年2月26日(月)より、「採血室」が移動になりました。
採血台を6台から9台に増設し、出来るだけ患者さんの待ち時間が少なくなるように配慮しました。また、平成30(2018)年3月26日(月)からは、新システム導入により採血台に番号表示が付き、患者さんの誘導がスムーズに行えるようになりました。
これからも、患者さんにとってより安心で、安全な採血室の構築を目指して行きたいと思えます。



検査部
星 くに子



「耳鼻咽喉科外来」拡張しました

耳鼻咽喉科では外耳や中耳疾患、難聴やめまいを症状とする内耳の病気など耳に関する疾患を扱っております。

また鼻アレルギーや副鼻腔炎といった鼻の病気、扁桃腺や声のかれ、ものが飲み込みにくいなどの嚥下の問題、口腔や咽喉頭、頸部、甲状腺の良性腫瘍や癌、リンパ節腫脹などをはじめとする顔面・頭頸部の疾患にも取り組んでおります。

顔面神経麻痺やめまいの原因の検索には聴力や平衡機能などの耳の検査が必須で、適切な治療によって改善致します。鼻疾患に対して内視鏡を用いた侵襲の少ない手術法を行い、良好な成績をあげております。

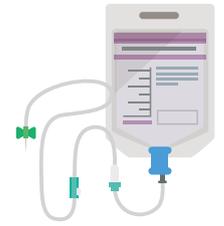
さらに喉頭癌・上顎癌・口腔咽頭癌など頭頸部悪性腫瘍につきましては、放射線科や腫瘍内科と連携をとりながら、生活の質(QOL)に配慮した、より効果的かつ負担の少ない治療に取り組んでおります。

耳鼻咽喉科に関連した困ったことがありましたら、かかりつけ医の先生にご相談の上、当科を受診されてください。皆様のお役に立てれば幸いです。

耳鼻咽喉科 科長
太田 伸男



「外来化学療法室」移転しました



近年、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の開発により、がんの薬物療法の治療成績は著しく向上しています。また、超高齢者社会の到来に伴ってがんの罹患率は上昇傾向にあり、2人に1人の方ががんを発症すると言われております。がん患者さんが社会から隔絶されないように、がんの薬物療法は外来で行うことが多くなっております。



当院でも以前から9床を有する外来化学療法室が整備されていましたが、昨今は需要が多くなっているために病床数が不十分になっておりました。そこで、増床可能なスペースへの移転が計画され、平成30(2018)年2月21日(水)に無事移転を完了致しました。建物は古いままですが、中はきれいに改装され、以前よりは快適なスペースとなっております。



今回は9床のままの移転であり、平成30(2018)年4月に15床に増床のための工事が予定されております。名称も「外来化学療法センター」に改称し、様々な診療科が使用する共通施設として、さらに体制を整えていくことになっております。

増床してもこれまで通りの管理やサポートができるように平成30(2018)年3月からは看護師が1人増員となりました。

また、昨年からは薬剤師による薬剤指導も開始され、好評を頂いております。引き続き、がん薬物療法専門医、がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師など各職種のスペシャリストを含むチームによる質の高い医療を提供しています。一人でも多くの患者さんにできるだけ快適に安心して治療が受けて頂けるよう、今後も環境、体制を整えてまいります。

病院からの
お願い

初診の方は原則、紹介状をご持参ください。

※紹介状をお持ちでない患者さんでも受診は可能ですが、その場合は初診に係る費用として5,000円(税別)を自費でご負担いただきます。



腫瘍内科 科長
下平 秀樹

高次脳機能障害支援センターの取り組み

当院は長年高次脳機能障害の臨床に取り組んできた実績を評価され、平成13(2001)年からは厚生労働省の事業の一環として、高次脳機能障害の相談・評価・診断・支援に取り組んで来ました。

平成18(2006)年より高次脳機能障害支援拠点病院として宮城県から委託され、平成26(2014)年度まで、宮城県を始め、東北6県の高次脳機能障害支援ネットワークのハブ的役割を果たして参りました。平成28(2016)年には「高次脳機能障害支援センター」が院内に設置され、当院に相談のあった患者さんについて、カンファレンス(毎週火曜日16:30~)で情報を共有し、一人ひとり、具体的な支援を検討し、対応しています。

高次脳機能障害支援センターでは、また、高次脳機能障害者の方々が住み慣れた場所でよりよく生活していくために、地域の病院・就労機関・支援者との連携と協働を日々図っています。



「高次脳機能障害」について

詳しく知りたい方は、ぜひ当院ウェブサイトを参照ください。

ケータイ・スマホの方は
こちらからもアクセス!



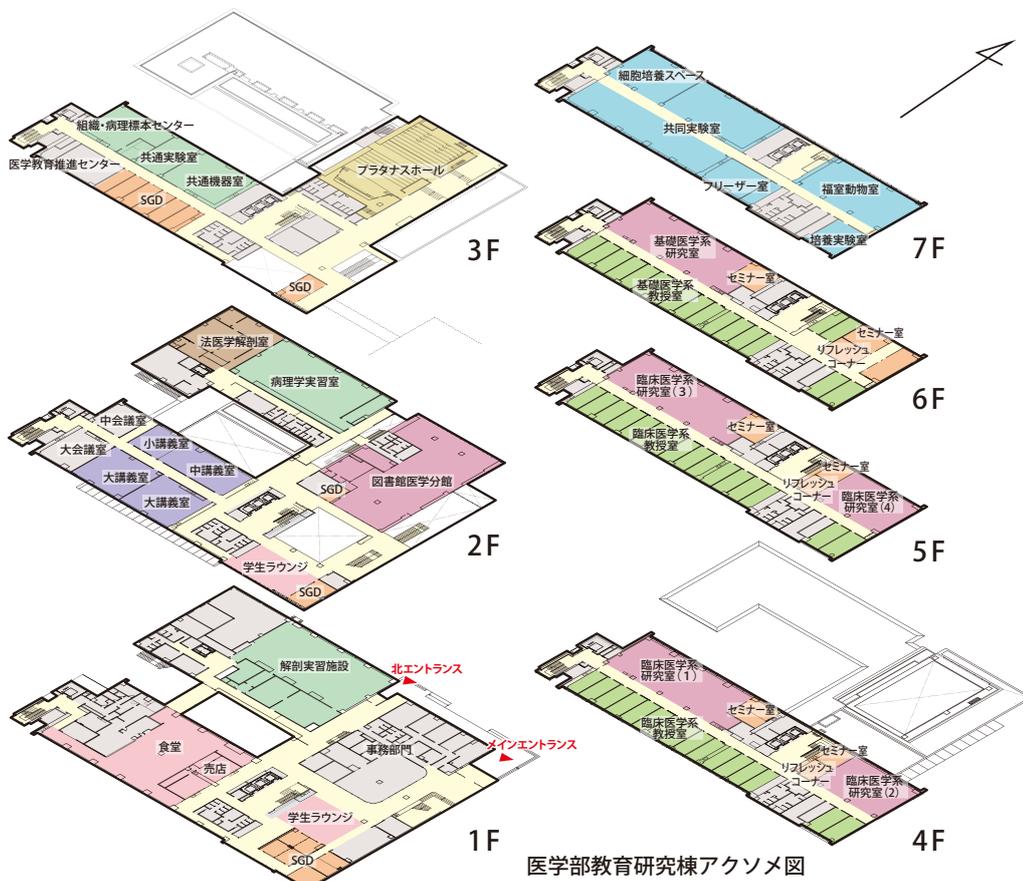
リハビリテーション部
(高次脳機能障害支援
コーディネーター)
目黒 祐子

INFORMATION



当院での企画や行事、最新情報をお伝えいたします！

「東北医科薬科大学 医学部教育研究棟」が竣工・開所しました！



医学部教育研究棟（延面積 17,297.6 m²）は、第1教育研究棟（地上7階、延面積 14,995.47m²）と第2教育研究棟（地上2階、延面積 2,302.13 m²）の2棟により構成されています。

第1教育研究棟の4階～7階は、基礎・臨床医学学習のための研究・実験エリアとなっております。

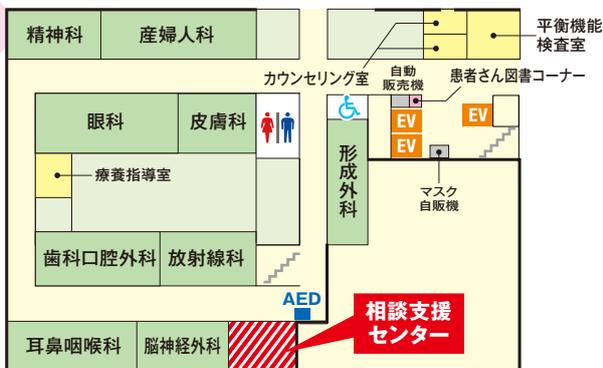
第1教育研究棟および第2教育研究棟の1階～3階は、基礎・臨床医学学習のための教育エリアとなっております。

3階には、約300名を収容できる「プラタナスホール」が備わっており、地域一般の方や院内外医療関係者を対象とした講演会・研修会などに活用する予定です。

相談支援センター

当院では、医療費などの経済的なことや治療上的なことなど、病気に関わるご不安やお悩みを少しでも和らげられるよう、相談窓口を設置しております。どこに相談したらいいのかわからないとお困りの際には、お気軽に下記までご相談ください。

2階



- ◆日時 月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
9:00～16:30
- ◆TEL 022-259-1221（代表）

ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！



健康講話のお知らせ

地域の皆様が明るく楽しく健康な生活がおくれますよう、「健康講話」を開催いたします。どなた様もお気軽にご参加ください。

- 開催日時：下記の日程の水曜日 13:30～14:30
- 開催場所：東北医科薬科大学病院（多目的棟2F大会議室）
- 参加料：無料

【予定演題】

- 4月25日 ①爪のお話
- 5月9日 ①“めまい”はこわくない
②こわい感染症・肺炎の予防法
- 5月23日 ①何を控えてどう食べる？
～血糖や体重が気になる方へ～
②漢方のイロハ
- 6月13日 ①子どものアトピー性皮膚炎 スキンケアのポイント
②尿路結石について
- 6月27日 ①たかが胆石、されど胆石
②胆管癌とは？



ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！

